

# 令和3年度 学校評価報告書

学校番号(小32) 長崎市立(稲佐小)学校

## 1 教育目標

たくましく未来を切り拓く子どもの育成  
 ○いっぱい学ぶ子  
 ○なかよく協力する子  
 ○さいごまでやり抜く子

## 2 学校経営方針

子ども・保護者・教職員・地域が誇りに思える学校  
 学力を保障する学校  
 心を育てる学校  
 体を鍛える学校  
 地域に生きる学校

## 3 重点目標

○「算数科」の指導法研究を軸とした授業改善のための校内研修の活性化  
 ○孤立児ゼロシステムの確立と児童の自尊感情の育成  
 ○学校・家庭・地域の連携・協働

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	88	88	100	○概ね良好
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	94	93	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			93	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			71	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	81	87	93	○概ね良好
		挨拶をよくしている	89	72	53	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	74	78	86	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	86	87	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	95	82	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	91	87	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	97	91	93	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	93	85	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	92	87	100	○概ね良好
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	94	85	93	
		家庭学習の習慣が身に付いている	90	75	92	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	77	78	100	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	88			

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	94	93	100	○概ね良好
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	90	78	92	
		体力向上に努めている	95	83	100	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	94	93	100	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	90	91	100	○概ね良好
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	92	90	93	
	P T A ・ 地 域 と の 連 携	学校はPTAや地域との連携がとれている	90	90	100	
	職 員 資 質 向 上	研修が充実し、資質が向上している			77	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	89	90	93	○概ね良好
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			87	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○全体的に概ね良好の状態である。稲佐小学校の学校経営方針が保護者に浸透し始めていると考えられる。  
○「あいさつ」(保護者72%、教職員53%)についての評価が保護者・教職員共に低い。新型コロナウイルス感染症対策で児童の交流活動、地域での校外学習の機会が減っていること、それに従って教育活動がやや内向きになっていると考える。感染状況に関わらず、学校、保護者、地域の3者が手を携えて、あいさつができる児童を育てているけるよう手立てを講じる。  
○教職員の評価において、業務改善(71%)は昨年度からやや改善しているものの、まだ評価が低い。校務分掌の見直しをはじめ具体的な改善を進め、バランスのとれた働きやすい職場環境を実現していく。

## 6 学校関係者評価

○明るく素直な子が多い。あいさつは大人が声をかけると挨拶してくれる。子どもから進んであいさつというのはできていない。恥ずかしい子が多いのではない。  
○新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、校外でのボランティア活動が制限されているのか。感染が落ち着いたら、以前の様に活動してほしい。  
○学習者用パソコンの利用については、世間では誹謗中傷などが話題になっているが、どのように進めていくのか。ルール作りをしっかりとしてほしい。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により教育活動が制限され、教職員も子どもも少し内向きになってしまっている。感染が落ち着いたら、ボランティア活動など、以前のように戻して活動していきたい。  
○あいさつについては、校外でも挨拶ができる子を育てていきたい。例えば全校集会の時に地域の方に来校していただき挨拶してもらうなど、地域の方に守られている、支えられているという意識を高めるなどが考えられる。  
○学習者用パソコン利用のルール作りについては、しっかりと行い、次年度からの積極的な活用につなげていく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。